

平成14年第1回定例会の日程

3月11日	12日	本会議 (議長選挙、副議長選挙)
13日	本会議	委員会の設置・選任、一部事務組合 議会議員等の選挙・推薦、会期の 決定
14日	本会議	所信表明、行政報告、諸般の報告、 議案上程、請願上程
18日	常任委員会	(企画総務、生活文教)
19日	常任委員会	(福祉保健、まちづくり建設)
20日	一般会計予算特別委員会	
25日	特別会計予算特別委員会	
26日	特別委員会	(行財政改革推進、総合体育館建設)
27日	本会議	(議案・請願審査報告、議案上程)
29日	本会議	(一般質問)
4月1日	5日	本会議 (一般質問)
8日	本会議	(一般質問、議案上程、請願上程)

日野市議会 / ☎191-8686 日野市神明1-12-1 TEL (042) 585-1111 内線 602~605
FAX (042) 586-4605

平成14年度予算を可決

4月から一中、七生中で学校給食の民間委託

平成14年
第1回定例会

はじめての入学式

4月に開校した「夢が丘小学校」



高幡台小学校と程久保小学校が統廃合し
て、「夢が丘小学校」が誕生しました。4
月8日、開校式と初めての入学式が行わ
れ、ピカピカの一年生52人が桜咲く校門
をくぐり上級生に迎えられました。



平成14年第1回定例会は、3月11日から4月8
日までの29日間にわたり開かれ、市長提出議案38
件、議員提出議案6件、請願・陳情11件が審議さ
れました。今定例会は、2月17日に投票が行われ
た市議会議員選挙後初の議会であったため、議案
等の審議に先立ち、正副議長の選挙や各委員会委
員の選任など、人事構成が行われました。11、12
日にそれぞれ行われた正副議長選挙の結果、第21
代日野市議会議長には小川友一議員(自民クラブ)
が、同じく副議長には沢田研二議員(市民クラブ)
が選任されました。

市長提出議案のうち、平成14年度予算案につい
ては、一般会計予算及び特別会計予算の2つの特

別委員会が設置され審議されました。一般会計予
算及び土地地区画整理事業特別会計予算については
賛否が分かれたため挙手による採決を行った結
果、賛成多数でいずれも原案のとおり可決されま
した。一方、他の特別会計予算は、全会一致で原
案のとおり可決されました(審議概要は2面に掲
載)。その他の議案については、福祉サービスの質
的変換を図ることを目的とした「日野市高齢者福
祉条例の一部を改正する条例の制定について」な
ど、すべての議案が原案どおり可決されました。

画整理事業の完了に伴い、
日野市町名地番整理審議会
の答申を受け、町区域及び
字区域を変更するものです。

◎日野市高齢者福祉条例の
一部を改正する条例の制
定について

この議案は、少子高齢化
という人口構造の中で、複
雑多様化する福祉行政に備
えることが急務であること
から、福祉サービスの質的
転換を図ることを目的とし
て、高齢者福祉条例の一部
を改正するものです。

◎日野市一般職の職員の給
与に関する条例の一部を
改正する条例の制定につ
いて

この議案は、職員の新し
い給与制度に関するもので、
職務と職責に応じた体系に
改めるため、職務給制度を
導入することを目的として
条例の一部を改正するもの
です。改正内容は、①一般
行政職と技能労務職の給料
表の完全別表化 ②給料表
を6級制から13級制とする。
これにより人件費の財政効
果は、5年後には試算で約
25%の削減が見込まれます。

主な議案と内容

◎日野市学校施設整備基金
条例の制定について

この議案は、日野市立小
中学校の整備資金を確保す
るため、新たに条例を制定
して、日野市学校施設整備
基金を設置するものです。

本条例は耐震補強工事を始
めとする今後の学校施設整
備を計画的に進めるため、
各年度において生じる財政
事情の中で、確実な財源を
常に確保していくことを目
的としています。

◎町区域及び字区域の変更
について 《原案可決》

この議案は、東光寺上第
二、高幡、南平の各土地

議長 小川友一(56歳)



自民クラブ
市議会議員 4期

副議長 沢田研二(57歳)



市民クラブ
市議会議員 4期

正副議長 就任あいさつ

このたび、市議会議員改選後の第1回定例会において、私ど
もは第21代の日野市議会議長並びに副議長に選任されました。
もとより、微力ではございますが、精一杯議会運営に尽力す
る所存ですので、市民の皆様にはこれまで以上に倍加するご支援ご
協力をお願い申し上げます。

さて、地方自治体に課せられた責務はますます重大になっ
てきております。国の施策であります地方分権化は、権能の自治
体への委譲と同時に、その財政的基盤もまた地方自治体に向
けるものです。長引く不況下、当市においても財政の健全化に向
け努力がなされているところで、暮らしやすい仕組み作り
やまちづくり基盤整備事業のために、財政的に厳しい状況下に
あります。また、中央のみならず地方までの枚挙に暇がない不
祥事により、政治不信は大きなものがあります。

市議会においては市民の皆様の声に傾聴し、行政の進むべき
道をしっかりとチェックし、またサポートしていかねばなら
りません。私も皆様様の代表である権威ある市議会のため、
公正にして謙虚にその任に当たることを約束して就任の挨拶
といたします。

平成14年度予算と主要事業について

～市長の所信表明より抜粋～

平成14年度一般会計予算は、456億1,200万円
で前年度比1.5%の減となりました。

歳入については、その根幹をなす市税収入が
267億4,400万円で、前年度比1.3%増となり、
4年ぶりにプラスに転じました。一方、市債は
33億1,700万円で、前年度に比べ15億6,600万円
の増となっています。これは主に土地開発公社
経営健全化計画の実施によるものであります。
また、利子割交付金が5億5,100万円で、前年
度に比べ2億円強の減となりましたが、これは
平成12～13年度にわたる定期預金満期に伴う収
入増期が去ったためです。

歳出については、「財政再建計画に沿った行
政改革遂行型予算」を予算編成方針の基調と
し、一般職の人件費を3億4,000万円削減する
など、内部努力による経費の圧縮を図りました。

平成14年度の主要事業

- 市民参画で策定した「日野いいプラン2010」の推進
- 土地開発公社の経営健全化
- 小中学校校舎等の年次計画に沿った整備
- 豊田下地区センターの新築
- 心身障害者（児）通所訓練施設への助成
- 高齢者インフルエンザ予防接種の推進
- 第1東光寺団地市営住宅建替等工事(第3期)
- 市内連絡バス（ミニバス）路線の拡充
- 百草地区緑地用地の取得
- 日野用水整備
- （仮称）小構公園の整備
- 一番橋通り（都市計画道路3・4・14号線）橋梁工事ほか
- 高幡不動駅周辺地区まちづくりの促進
- 活力ある農業経営育成

一般会計予算

原案可決

平成14年度一般会計予算
特別委員会では3月20日・22
日・25日の3日間にわたり
開催され、夏井明男委員長、
渡辺眞副委員長のもと、慎

重な審査が行われました。
委員会では、予算編成の
基本方針や予算執行に当
たつての具体的方策、健全
な財政運営の取り組みなど
について、延べ39名の委員
から90件の質疑や行政への
意見、提言、指摘がありま
した。

主な質疑としては
○ファミリー・サポート・
センター事業について
○健康管理手当てについて
○日野駅、豊田駅のバリア
フリー化について
○学校給食の民間委託化に
ついて
などがありました。

委員会では、中谷好幸委
員ほか1名より、市長が予
算案を速やかに再検討し、
再提出することを内容とし
る予算の編成替えを求める
動議と名取美佐子委員長ほか
2名より、学校給食調理業
務委託料を予備費に繰り入
れることを内容とする修正
案が提出されました。動議
修正案への質疑、意見の後
採決を行い、賛成少数で否
決され、原案が賛成多数で
可決すべきものと決まりま
した。

3月29日の本会議におい
て、委員会と同じ内容の修
正案が提出され、質疑が行
われました。
各会派の代表による予算
案に対する意見表明の後、
採決が行われ、平成14年度
一般会計予算は、賛成多数
で原案のとおり可決されま
した。

平成14年度特別会計予算
特別委員会は3月26日に開
催され、土方尚功委員長、古
池初美副委員長のもと、慎
重な審査が行われました。
委員会では各特別会計で
とに審査が行われ、質疑や
行政への意見、提言、指摘
が行われました。概要は次
のとおりです。

★国民健康保険特別会計
予算総額
88億8千70万円
医療保険と介護保険のす
み分けについてなどの質疑
がありました。特段の意見
はなく、採決の結果、全
会一致で原案どおり可決す
べきものと決まりました。

★土地区画整理事業特別会
計
予算総額
96億3千211万円
特段の質疑はなく、在宅
医療への対応について意見
がありました。全会一致
で原案どおり可決すべき
ものと決まりました。

★介護保険特別会計
予算総額
43億2千398万円
耐震化工事や材質改善工
事について質疑がありま
した。特段の意見はなく、全
会一致で原案どおり可決す
べきものと決まりました。

★市立総合病院事業会計
予算総額
79億376万円
新病院の駐車場使用料に
ついてなどの質疑がありま
したが、特段の意見はなく、
全会一致で原案どおり可決
すべきものと決まりました。

3月29日の本会議では、
土方委員長による審査報告
に対し、土地区画整理事業

平成14年度予算の審議から

一般会計予算総額
456億1,200万円
(前年度対比1.5%減)

特別会計予算総額
412億6,375万円
(前年度対比11.1%減)

特別会計予算

原案可決

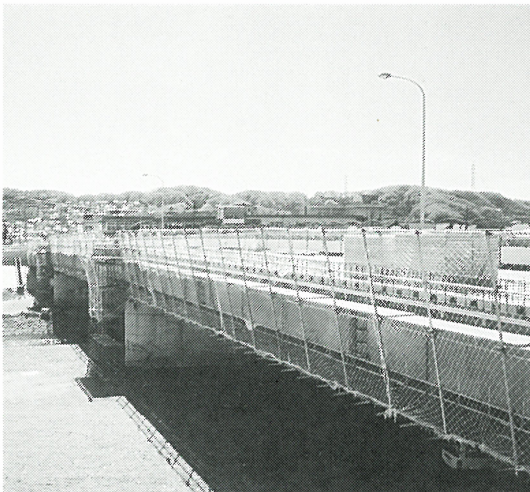
平成14年度特別会計予算
特別委員会は3月26日に開
催され、土方尚功委員長、古
池初美副委員長のもと、慎
重な審査が行われました。
委員会では各特別会計で
とに審査が行われ、質疑や
行政への意見、提言、指摘
が行われました。概要は次
のとおりです。

★国民健康保険特別会計
予算総額
88億8千70万円
医療保険と介護保険のす
み分けについてなどの質疑
がありました。特段の意見
はなく、採決の結果、全
会一致で原案どおり可決す
べきものと決まりました。

★土地区画整理事業特別会
計
予算総額
96億3千211万円
特段の質疑はなく、在宅
医療への対応について意見
がありました。全会一致
で原案どおり可決すべき
ものと決まりました。

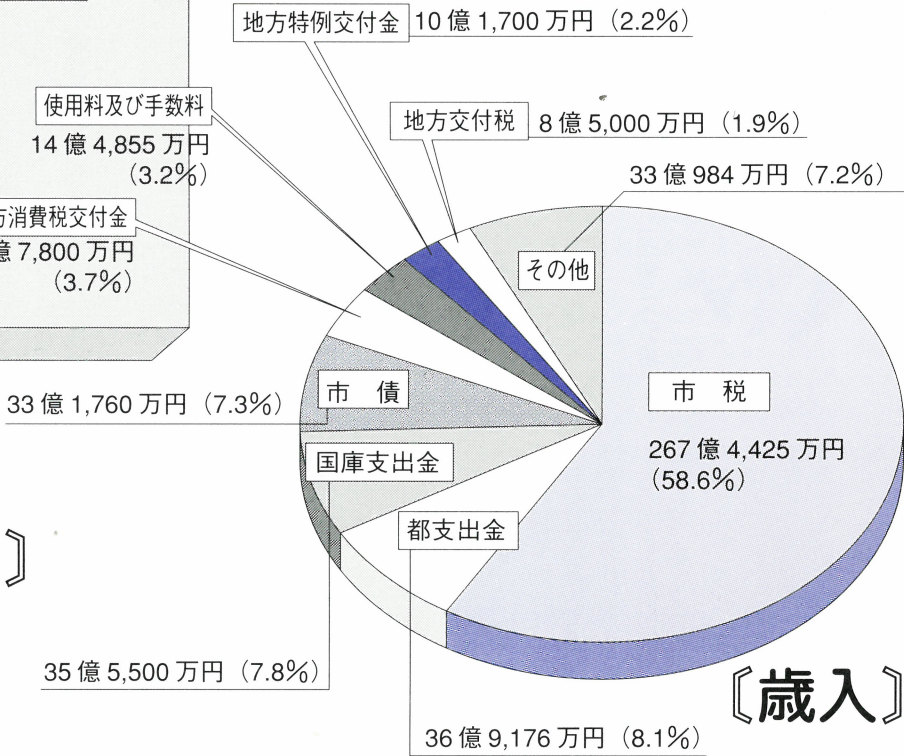
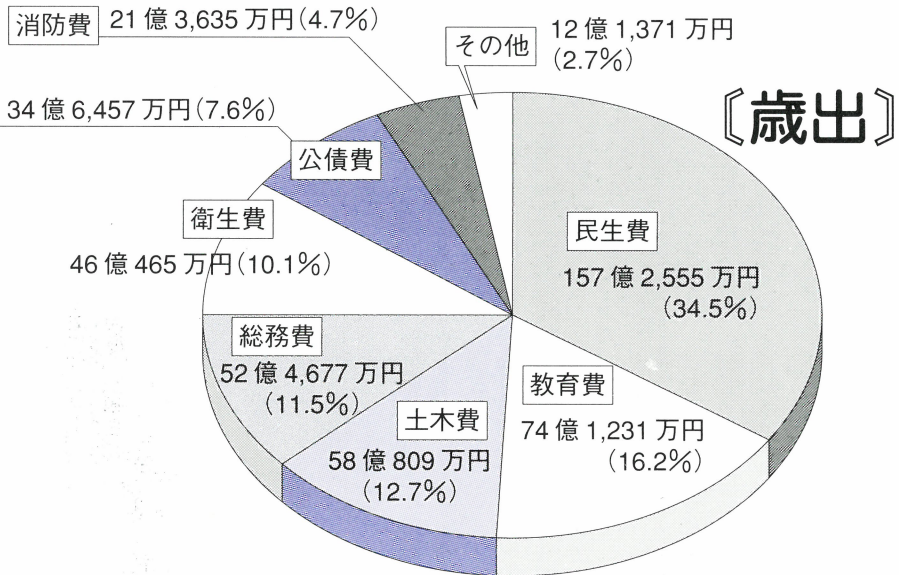
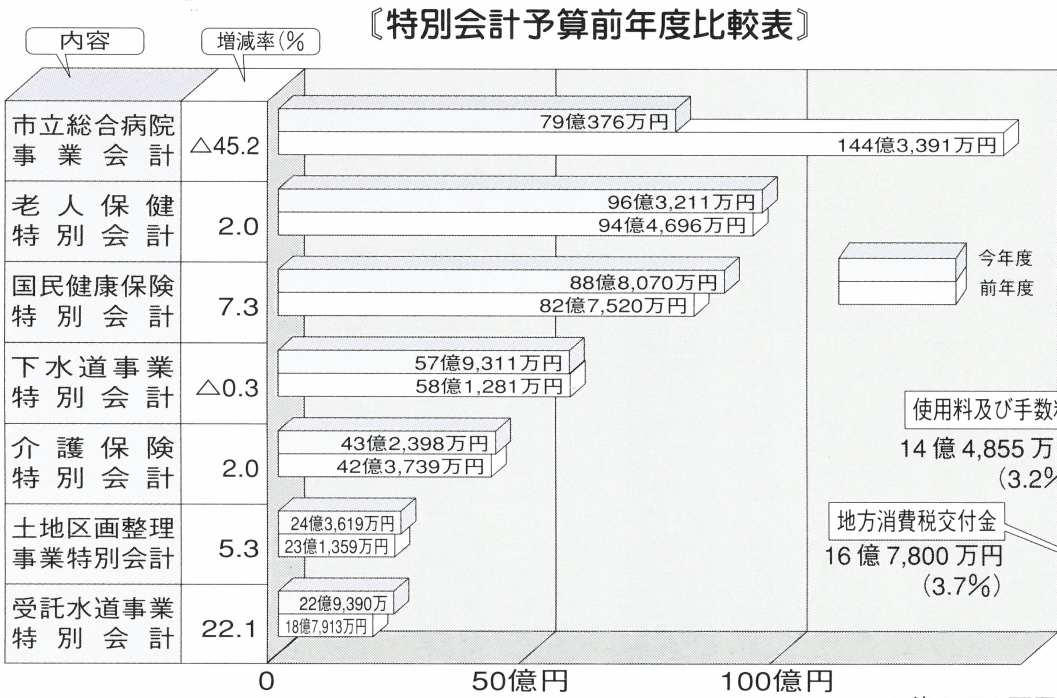
★介護保険特別会計
予算総額
43億2千398万円
耐震化工事や材質改善工
事について質疑がありま
した。特段の意見はなく、全
会一致で原案どおり可決す
べきものと決まりました。

★市立総合病院事業会計
予算総額
79億376万円
新病院の駐車場使用料に
ついてなどの質疑がありま
したが、特段の意見はなく、
全会一致で原案どおり可決
すべきものと決まりました。



▲着々と進む一番橋の架け替え工事

特別会計予算についての反
対意見がありました。採
決の結果、7つの特別会計
予算は、すべて原案どおり
可決されました。



平成14年度一般会計

予算構成図

平成14年度一般会計予算に対する

各会派の総括意見

平成14年度一般会計予算に対する各会派の意見表明は、3月29日に本会議場において行われました。各会派の意見（要旨）を紹介します。

なお、無会派の議員（1名）からも、意見表明がありました。

修正案に反対し、原案に賛成する立場で、意見を申し上げます。

この苦しい状況の中、市長の基本姿勢である「市民参画」の市政、「環境にやさしい」市政、「経営感覚」を持った市政の3本の柱をもととし、労使力を合わせ、市民生活への影響を最小限にとどめる努力の跡が随所に見られる本予算を大きく評価します。以下、歳出につき「日野いプラン2010」による予算編成方針に基づき、評価をしますと、

○日野人・日野文化を育てるまちづくり。ここで特筆すべきは、総合体育館の建設が、14年度予算において軌道に乗ろうとしていることであります。また、学校施設の整備について、計画的な方向が示され、その財源として基金が設定されることも高く評価します。

○対等の立場で心のかようまちづくり。高齢者支援事業及び障害者対策事業等も、それぞれ大きな金額が予算化されており、弱い立場の方々へ

市民参画による「2010プラン」に基づく予算を高く評価

の優しい思いやりが感じられます。○気軽に出かけられるまちづくり。地域形態の変化の中、それに対応するための市道整備予算が1億5千万円の計上を見ており、大きく評価します。また、丘陵地ワゴンタクシーの運行も、南北の地域格差解消や、丘陵地居住の高齢者のためにも、非常に大事な施策とされます。

最後にありますが、今回の予算で本日に明日の日野市が見えてきたものが三つあります。一つは、約230億円あった土地開発公社への債務が、これからの3カ年で約130億円台に減ることが視野に入ったこと。二つ目は、市職員の給料が職務給になったこと。三つ目は、5年前、7千万円しかなかった財政調整基金が約14億円となったこと。また、他の基金も増え、これらにより、今後の市民ニーズにじっくりこたえ、対応できる体制ができたと考えます。

この不況下、一層の努力を願い、意見とします。

賛成
自民クラブ

のばらまき型福祉であった健康管理手当の減額を実行し、本当に必要な部分に手厚く措置をしていく、これからの福祉のあり方を示すものとして大きく評価します。

都市基盤整備については、道路整備事業、駅と駅周辺の整備計画、下水道整備の促進は、大変期待をしていますが、環境への配慮は当然ですが、住みやすい、快適なまちづくりは、しっかりとした計画のなかでの推進が望まれます。続いて、市民の安全を守るための消防施設・設備の充実や、地域住民と一体化した防災体制づくりへの取り組みも、積極的に挑戦してほしいと思います。昨年、日野市で初めて行われた避難所体験訓練は充実したものでありました。この訓練を市内各拠点に拡大すると同時に、訓練が終了したところには自主防災組織を立ち上げ、避難所設備・備品の充実も図る必要があると考えます。

以上、原案賛成の意見とします。

賛成
市民クラブ

経費圧縮を図るとともに、将来展望を配慮した予算編成に賛同

平成14年度の主要事業の中、ITの推進化においては、地域イントラネットなどの情報通信網の整備の推進、教育関係では、校舎などの整備や学校給食調理部門の民間委託の推進など、前向きな検討を期待するところであります。

また、福祉関係については、従来

一般会計予算について、修正案賛成、原案反対の立場から、意見を申し上げます。

まず、学校給食の民間委託予算についてですが、市民の同意も理解も不十分なまま委託の強行は行うべきではなく、民間委託予算3千870万円が含まれた予算原案から、この予算の撤回を求めた修正案に賛成であります。その上で、予算原案への意見を申し上げます。

歳入では、普通交付税や地方特例交付金が十分な根拠もなく低く見積もられていることが明らかにあります。私たちは、国等よりの内示、また今年度実績、来年度市税収入の見通しを踏まえるならば、普通交付税と臨時財政対策債をそれぞれ1億5千万円、トータルで3億円増額することは可能であると考えます。

歳出で特徴的なのは、民生費が今年度決算見込額から、7億4千900万円の減、老人福祉費及び老人福祉施設費がトータルで1億1千万円の

行財政改革を断行しながらも、市民要望にこたえた的確予算

業を進めてほしいと思います。特別養護老人ホームの制度上の問題として、より重い介護度の高齢者が入所できないなどの制度的矛盾が指摘されています。当市でも、特養入所指針のようなものをつくっていただきたいことを強く要望しておきたいと思います。

日野駅の改良等の事業が予算化されています。これも市民要望の強い項目であります。前向きな検討をお願いいたします。

最後に、市内連絡バスについてであります。今年の6月には、市立病院がいよいよ開院をいたします。市内のどこからでも通院ができるようなバス路線の整備をお願いしておきたいと思います。

以上、何点かにわたって要望をさせていただきましたが、次世代に美しいふるさとを渡せるよう一丸となって頑張っていたきたいことを申し上げて、14年度予算の意見とさせていただきます。

賛成
公明党

修正案に賛成の立場で意見を申し上げます。今回の予算は、不況が続く厳しい財政状況の中、健康管理手当のカットや補助金の見直しなど、スリム化をさらに進めた予算となりました。

健康管理手当については、ばらまき型の福祉から、必要な人に必要なサービスが行き届く福祉への転換を図るべきとの立場から、見直しに賛成です。また、学校施設の改修を進めるための学校施設整備基金の設置や、NPOへの支援、電算化による市民サービスの推進など、厳しい財政状況の中での新たな取り組みも大きく評価します。

しかし、七生中学校と第一中学校への学校給食調理業務の民間委託導入は、今回、保護者の理解が十分でないとの理由により、修正案に賛成します。もちろん民間委託そのものに全面的に反対するものではなく、年間170日の給食づくりが公務員の勤務実態と合っているのかどうか、調

学校給食民間委託の導入は、市民と共に考えていく作業が必要

理をするという作業が公務員でなければできない仕事なのかどうか、もう一度問い直し、議論をする必要があると思います。その議論は、行政や議会の中ではある程度なされてきましたが、市民と同じテーブルで話し合われてはきませんでした。もう少し時間をかけ、保護者とともに考える時を共有してほしいと思います。また、遺伝子組み換え食品の対策については、市民の調査により、多摩市などより取り組みがはかっていることもわかりました。したがって、4月からの導入については今回見送り、急ぐことなく進めることを提案いたします。なお、この民間委託の予算を除き、原案に反対の立場をとるものではありません。

そのほか、女性社会事業協会の自立に向けた組織の見直し、ごみ改革の中で盲点となっている点字用紙の無料収集あるいは資源化促進などの要望を申し添えまして意見いたします。

反対
清流ネット

議会選出の委員と組合議員

今定例会において、次のとおり委員、組合議員が選出されました。

▼日野市監査委員 夏井 明男
中野 昭人

▼日野市農業委員 菅 原直志
宮 沢清子

▼東京都十一市競輪事業組合議会議員 手嶋 精一郎
土 方尚功

▼東京都四市競艇事業組合議会議員 手嶋 精一郎
土 方尚功

▼東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合議会議員 江 口和雄

▼南多摩斎場組合議会議員 出 沼 恵美子
田 原 茂

▼多摩地域農業共済事務組合議会議員 奥 野 倫子

一般質問

今定例会では、4月1日から8日までの6日間にわたり一般質問が行われ、17名の議員から30件の質問があり、行政側の対応をいただきました。

出沼 恵美子

(清流・ネット)

市民参加の施設づくりを

問1 多摩平団地の建て替えに伴い建設される複合施設の内容に関する話し合いに、いろいろな市民が参加できないか。

答1(まちづくり推進部長) 公園、市、自治会による三者勉強会で決定していきたいと考えます。

問2 総合体育館は、市民の声を聞き、市民の参加でつくってもらいたいと思うが、市はどのように考えているか。

答2(病院事務局長) 導入していきたいと考えています。

奥野 倫子

(日本共産党日野市議会議員団)

ますます厳しくなる低所得者の生活を日野市はどのように支えるのか

問1 介護保険の要介護認定者に対して障害者控除を受けられるように、市は認定書を発行せよ。

答1(福祉保健部長) 検討する

問2 介護保険の利用料助成対象者の拡大と保険料の減免を。

答2(助役) 介護保険利用計画作成委員会で検討していきます。

古池 初美

(清流・ネット)

学校教育に市民、地域の力の活用をすすめて

問 中学校在籍生徒の約78%が課外活動として部活動を行っているが、指導員不足により部活動が廃止されるという現状もある。どのように解消していくのか。

答(市長、教育長、学校教育部長) 外部指導員の枠を広げることも、社会人講師の活用等を行い、対応するよう検討します。また14年度より多摩地域の大学と連携し、部

馬場 繁夫

(公明党)

新市立病院を患者本位の病院に

問1 「新病院経営診断報告書」によると、病院運営に積極的に関与する企画室の設置、内部経営監査の実施などが重要とあるが、これらマネージメント機能の強化についてはどういう方向となるか。

答1(市長) 病院を運営する上で、何年かは外部の専門家に依頼するの一案と考えるところです。

問2 市内丘陵地域へのワゴンタクシーの早期導入を求む。

宮沢 清子

(公明党)

地域の安心・安全のために生活環境の改善等について問う

問1 ワゴンタクシーについて。

答1(企画部長) 利用しやすいよう工夫を検討します。

問2 京王動物園線の都市景観について。

答2(まちづくり推進部長) 地元の方や京王電鉄の協力を得て擁壁にツタ類の植栽を検討します。

活動の指導、授業補助等に大学生を派遣してもらう予定です。

子育て支援の充実を!

問1 市が提供している保育園・幼稚園の入所案内は、子どもをどこに預けようかと苦慮している保護者には不十分である。市民の意見を取り入れた資料の作成をすることはできないか。

答1(福祉保健部長、学校教育部長) 情報の提供に努めます。

問2 民間を含めて、保育内容の充実を検討してほしい。

答2(福祉保健部長) 今後とも、保育の質の向上に努めます。

クシの早期導入を求む。

答2(企画部長) 実現に向け、粘り強く検討していきます。

地域の諸問題について

問1 高幡地区広場における建設工事にあたり、交通安全対策面から、新道路建設整備を要望する。

答1(まちづくり推進部長) 進入路等は拡幅工事を行い、業者へも安全確保について指導します。

問2 市民の住環境を守るため、市街地における墓地建設に関する指針の設置を要望する。

答2(環境共生部長) 早急に検討していきたいと思います。

問3 程久保地区センターの坂道整備と倉沢地区の歩行帯について。

答3(建設部長) 高齢者の立場に立ち安全対策を検討します。

中谷 好幸

(日本共産党日野市議会議員団)

「参画と協働のまちづくり」を掲げる「日野市基本構想」を投げ捨てる高幡医療施設用地の売却について問う

問1 市の財産の用地を民間資本に売却し、そこに民間資本の力を活用して、公共施設も確保しようという大方針の決定こそ、市民参画が必要だったのでないか。

答1(企画部長) 高幡土地利用計画は、財政の立て直しや土地開発公社の健全化等を踏まえたもの

佐藤 洋二

(無会派)

JRに要望しているもの、あれこれの進捗について

問1 連続立体複々線化工事を立川以西まで延伸させ、西豊田駅を誘致する方策は、実現性の乏しいものではないか。

答1(まちづくり推進部長) 引き続き、JR東日本への要請行動を行っていきます。

問2 駅舎自由通路へのエレベーター、エスカレーター設置に伴う費用負担はどうなっているのか。

渡辺 眞

(自民クラブ)

日野市の累積借金(債務負担行為)について問う

問1 膨れ上がった借金。債務削減方向へ確実に制御していないか。

答1(企画部長) 現状では難しいが児童・生徒が安全に通学できる対策は必要と考えています。

問2 少人数学級についての市の考え方を問う。

答2(教育長) チーム・ティーチングや少人数指導に対する教員の加配及び指導補助員の配置などにより努力していきます。

森田 美津雄

(無会派)

既存バス路線の拡充とコミュニティバス構想について

問1 高齢者が外出する際、バス利用が多い。日野市における高齢者の増加率と、高齢化率の高い地域を問う。

答1(福祉保健部長) 今年1月の段階で15・3%の高齢化率です。高齢化率の高い地域は、南平、豊田、多摩平の順となっています。

佐瀬 昭二郎

(無会派)

「市民参加条例」の制定のために

問1 市民参加という手法を大胆に導入して策定された基本構想・基本計画づくりであったが、これについて、どのような成果と問題が確認されているかを問う。

答1(企画部長) 現状は、実施計画に各課の事業が位置づけられた段階であり、評価は困難です。

問2 基本構想・基本計画を具体化するためのプロジェクトチーム

秋山 薫

(市民クラブ)

新市立病院周辺の街づくりについて、市の考えを問う

問1 多摩平第一公園のバリアフリー化について問う。

答1(環境共生部長) 出入り口の段差解消、階段のスロープ化などの対応を考えています。

問2 新病院駐車場の整備について問う。

答2(病院事務局長) 駐車台数は294台です。公園利用者の駐車は一般診療のない時は利用可能と考えますが、平日の午後は状況をみて検討したいと考えます。

答2(企画部長) 一般バス路線の中では、利用者の減少により、収益性の低いバス部門の分社が進められています。

問3 高齢者のバス利用率はどのくらいなのか。

答3(企画部長) 70歳以上の方が使用するシルバーバスの利用率は40%でした。

問4 交通過疎地域の解消策について問う。

答4(市長、企画部長) バス路線の拡充、充実を検討します。

問2 現在のバス交通事情について問う。

の取り組みと、自治基本条例、市民参画条例づくりとは、どうつながっていくのか。

答2(企画部長) 政策に対する市民の意見や要望を伺える制度などの導入も検討し、ある程度進んだ時点で自治基本条例についても着手すべきと考えます。

問3 市民参加を進めるためには、すべての市民がどうすれば参加できるのか見えるようなルールを作り、試行的にそれを適用し、その上で経験を蓄積していくことが必要と考えるが、どうか。

答3(まちづくり推進部長) 提言について議論を深めます。

出入り口は原則として右折禁止とし、誘導員の配置、チラシ等の配布により利用方法を周知します。

問3 新病院周辺のまちづくりと現病院跡地の活用について問う。

答3(企画部長、まちづくり推進部長) 電線地中化工事や歩道拡幅を含めた道路の再整備、透水性舗装による歩道改修など公共施設のバリアフリーに配慮して進めます。

現病院の跡地利用は新しい方策を視野に入れ検討します。

中野 昭人

(日本共産党日野市議会議員団)

公開に参加によるまちづくり
へ一區画整理の現状を問う

問1 高幡地区に変電所が建設された場合、区画整理上の土地評価見直しが必要になるのではないか。
答1 (まちづくり推進部長) 見直しの必要性はないと考えます。
問2 豊田南地区で、専用住宅として使っていた土地が店舗地区Aに換地されて困っている方がいる。市はどう対応するのか。
答2 (まちづくり推進部長) 換

夏井 明男

(公明党)

1人の人を大切に政治
(行政) 思案・自助・共助・
公助

問 庁内における人事を含めての一人の人を大切に政治の流れと、市民要望について、どう方向性を持って、どのように進めていくのか。
答 (市長) まず聞くという視点で入っていく。一人ひとりの市民を大切に行政運営ができるのではないかと考えています。

名取 美佐子

(無党派)

税金のむだづかいをなくすため
①公共工事の入札制度
改革をすすめる②助役1人制
に③補助金の全面的見直しを

問1 入札制度への改革に努力されているが、落札率が90%以上のものは適正かどうかの調査を。
答1 (総務部長) 落札率が高いことが入札の競争に即直結するとも考えられませんが、指名業者選定委員会の中で議論していきたいと考えます。

菅原 直志

(清流・ネット)

談合できないシステムの提案
その1「公共工事入札の改善
を求める」

問 日野市の入札制度は、談合問題などが起りやすく、信憑性に欠けるものになっている。市のこれからの改革を問う。
答 (市長、助役) 昨年制定した要綱に基づき設置された、公正入札調査委員会、談合情報対応マニュアルに基づき、談合情報があ

竹ノ上 武俊

(日本共産党日野市議会議員団)

ミニバス(市内連絡バス)運
行の改革について

問1 七生地域や百草団地の方に足を運んでもらうためにも、新病院までのミニバス料金を200円にできるような方策を。
答1 (市長) 公平性を配慮しつつ福祉の面からも、できるだけ安い料金にできるように検討します。
問2 将来的には、市内どこにでも安価で行けるようなバス路線の整備を市民参画で検討するよう要

田原 茂

(公明党)

学校教育の諸問題について問
う

問1 完全学校5日制に伴う土曜日の受け皿作りについて、子どもの遊び場確保として、校庭は開放されるのか。
答1 (生涯学習部長) 団体利用の妨げにならないければ、少人数での使用は差し支えありません。
問2 総合的な学習の時間を活用して、どのように各学校の特色作りを進めていくのか。

常任委員会等委員を選任

常任、議会運営、特別の各委員会委員が次のとおり選任されました。特別委員会については、当面する行政課題を調査・研究するため、行政改革推進特別委員会と総合体育館建設特別委員会が設置されました(写真下は所属特別委員会等)。

企画総務委員会

竹ノ上 武俊

(日本共産党
日野市議会議員団)



○委員長
○行財政改革推進特別委員会委員

生活文教委員会

佐瀬 昭二郎

(無党派)



○副委員長
○行財政改革推進特別委員会委員

出沼 恵美子

(清流・ネット)



○議会運営委員会委員
○総合体育館建設特別委員会委員

田原 茂

(公明党)



○議会運営委員会委員長
○総合体育館建設特別委員会委員

沢田 研二

(市民クラブ)



○副議長

小川 友一

(自民クラブ)



○議長

土方 尚功

(自民クラブ)



○総合体育館建設特別委員会委員

菅原 直志

(清流・ネット)



○委員長
○行財政改革推進特別委員会委員

名取 美佐子

(無党派)



○副委員長
○行財政改革推進特別委員会委員

渡辺 眞

(自民クラブ)



○行財政改革推進特別委員会副委員長

江口 和雄

(市民クラブ)



○行財政改革推進特別委員会委員

手嶋 精一郎

(自民クラブ)



○議会運営委員会委員
○行財政改革推進特別委員会委員

中谷 好幸

(日本共産党
日野市議会議員団)



○総合体育館建設特別委員会委員

夏井 明男

(公明党)



○議会運営委員会委員
○行財政改革推進特別委員会委員

宮沢 清子

(公明党)



○委員長
○総合体育館建設特別委員会委員

森田 美津雄

(無党派)



○副委員長
○行財政改革推進特別委員会委員

奥野 倫子

(日本共産党
日野市議会議員団)



○議会運営委員会
○総合体育館建設特別委員会委員

鈴木 勝豊

(市民クラブ)



○総合体育館建設特別委員会委員

馬場 繁夫

(公明党)



○行財政改革推進特別委員会委員

小山 良悟

(自民クラブ)



○総合体育館建設特別委員会委員

秋山 薫

(市民クラブ)



○委員長
○議会運営委員会委員
○総合体育館建設特別委員会委員

佐藤 洋二

(無党派)



○副委員長
○総合体育館建設特別委員会委員

古池 初美

(清流・ネット)



○行財政改革推進特別委員会委員

馬場 賢司

(公明党)



○総合体育館建設特別委員会副委員長

梅田 俊幸

(自民クラブ)



○議会運営委員会副委員長
○総合体育館建設特別委員会委員

中野 昭人

(日本共産党
日野市議会議員団)



○議会運営委員会委員
○行財政改革推進特別委員会委員

今定例会で 議決した議案

市長提出議案

- 第1号 日野市学校施設整備基金条例の制定について《原案可決》
- 第2号 日野市特別会計条例等の一部を改正する条例の制定について《原案可決》
- 第3号 日野市国民健康保険出産資金貸付基金条例の一部を改正する条例の制定について《原案可決》
- 第4号 日野市下水道条例の一部を改正する条例の制定について《原案可決》
- 第5号 日野市普通河川等管理条例の一部を改正する条例の制定について《原案可決》
- 第6号 日野市手数料条例の一部を改正する条例の制定について《原案可決》



久木田 薫 さん

プチ・コンサートを6月3日に開催

平成14年第2回定例会の初日に、市議会本会議場でプチ・コンサートを開催します。お誘い合わせでご来場ください。

- 【日時】 6月3日(月) 午前10時から
【演奏】 久木田 薫 (チェロ)
久木田 淑子 (ピアノ)
【曲目】 ○愛のあいさつ (エルガー)
○白鳥 (サンサーンス)
○トロイメライ (シューマン)
○浜辺の歌 (日本唱歌)
○リベルタンゴ (ピアソラ)

チェロの魅力をあますことなく伝える
若きチェリストのコンサート

- 第7号 日野市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の制定について《原案可決》
- 第8号 平成13年度日野市一般会計補正予算(第7号)《原案可決》
- 第9号 平成13年度日野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)《原案可決》
- 第10号 平成13年度日野市土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)《原案可決》
- 第11号 平成13年度日野市下水道事業特別会計補正予算(第3号)《原案可決》
- 第12号 平成13年度日野市受託水道事業特別会計補正予算(第2号)《原案可決》
- 第13号 平成13年度日野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)《原案可決》
- 第14号 平成13年度日野市立総合病院事業会計補正予算(第2号)《原案可決》
- 第15号 平成14年度日野市一般会計予算《原案可決》
- 第16号 平成14年度日野市国民健康保険特別会計予算《原案可決》
- 第17号 平成14年度日野市土地区画整理事業特別会計予算《原案可決》
- 第18号 平成14年度日野市下水道事業特別会計予算《原案可決》
- 第19号 平成14年度日野市受託水道事業特別会計予算《原案可決》
- 第20号 平成14年度日野市老人保健特別会計予算《原案可決》
- 第21号 平成14年度日野市介護保険特別会計予算《原案可決》
- 第22号 平成14年度日野市立総合病院事業会計予算《原案可決》
- 第23号 市道路線の一部廃止について《原案可決》
- 第24号 市道路線の廃止について《原案可決》
- 第25号 市道路線の認定について《原案可決》
- 第26号 町区域及び字区域の変更について《原案可決》
- 第27号 日野都市計画事業万願寺土地区画整理事業に関する業務委託契約の変更について《原案可決》
- 第28号 日野都市計画事業西平山土地区画整理事業に関する業務委託契約の締結について《原案可決》
- 第29号 日野市公共下水道事業(事業の一部)に関する業務委託契約の変更について《原案可決》
- 第30号 日野市高齢者福祉条例の一部を改正する条例の制定について《原案可決》
- 第31号 日野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について《原案可決》
- 第32号 日野市職員の公益法人等への派遣等に関する条例の制定について《原案可決》
- 第33号 日野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について《原案可決》

議員提出議案

- 第34号 日野市職員の再任用に関する条例の制定について《原案可決》
- 第35号 平成13年度日野市一般会計補正予算(第8号)《原案可決》
- 第36号 日野市監査委員の選任について《同意》
- 第37号 日野市固定資産評価審査委員会委員の選任について《同意》
- 第38号 日野市市税条例の一部を改正する条例の制定について《原案可決》
- 第2号 有事立法に反対する意見書《否決》
- 第3号 鈴木宗男衆議院議員、加藤紘一衆議院議員、辻元清美衆議院議員に関わる疑惑の解明と国会議員辞職を求める決議《原案可決》
- 第4号 多摩地域の保健所再編整備案に反対する決議《原案可決》
- 第5号 日野市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について《原案可決》
- 第6号 日野市議会の会派に対する政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について《原案可決》
- 第7号 日野市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について《原案可決》

請願・陳情の 審査状況

今定例会では、請願・陳情11件が審査されました。審査の状況は次のとおりです。

採 択

- ◎昇降機設置に関する請願
【要旨】京王電鉄高幡不動駅には昇降機がありません。そのことについては、地元の高齢者、高幡不動尊への参拝者等が不安と不便を感じています。現状を調査の上、速やかに関係機関と調整を行い、昇降機が設置されるようご尽力をお願いいたします。
- ◎昇降機設置に関する請願
【要旨】京王電鉄高幡不動駅には昇降機がありません。そのことについては、地元の高齢者、高幡不動尊への参拝者等が不安と不便を感じています。現状を調査の上、速やかに関係機関と調整を行い、昇降機が設置されるようご尽力をお願いいたします。
- ◎一中と七生中での予定されている学校給食調理業務の民間委託について四月実施の凍結を求める請願
◎一中・七生中への「学校給食調理業務の民間委託」に関する陳情

不採 択

- ◎四月から一中と七生中学校で学校給食調理業務の民間委託を行わないことを求める請願
- ◎市立総合病院新病院の医療機器その他の機器を選定した経過を明らかにすることを要請することに関する陳情
- ◎一中と七生中での予定されている学校給食調理業務の民間委託について四月実施の凍結を求める請願
- ◎一中・七生中への「学校給食調理業務の民間委託」に関する陳情

継 続

今定例会では、次のとおりの決議が可決されました。

■鈴木宗男衆議院議員、加藤紘一衆議院議員、辻元清美衆議院議員に関わる疑惑の解明と国会議員辞職を求める決議

いま、国会議員に関わる不祥事が、あいついで国民の前に明らかにされている。疑惑をもたれた国会議員は自らの疑惑を解明し、その責任を明らかにしなければならない。しかし、今日に至るも、疑惑に対して国民の理解がえられる説明はされておらず、責任も明確にされていない。よって、日野市議会は、国会の権威と議会制民主主義を守るために、また、国政に対する国民の信頼を回復するために、国会議員に関わる疑惑の解明と議員辞職を求めるものである。

以上、決議する。

■多摩地域の保健所再編整備案に反対する決議

都は、住民に対する保健、医療、福祉のサービスは市町村が行うべきとの考えから、昨年、『21世紀の東京都保健所～多摩地域の保健サービスの再構築に向けて～』を発表し、現行の都立12保健所を平成15年度には5保健所に再編整備し、これに人口30万人以上の八王子市と町田市にそれぞれ1ヶ所の市立保健所の設置を推進している。しかし、多摩地域の保健医療の実態を見ると、依然として都立保健所が市民にとって重要な保健行政機関であることに変わりはない。

よって、今回の都の多摩地域の保健所再編整備案に断固反対し、撤回を強く求めるものである。

以上、決議する。

【提出先】東京都知事

市議会の本会議録が お近くの公共施設で ご覧になれます



▲市役所に設置されている情報端末

市では昨年12月より、市内公共施設を地域インフラネットワークで結び、図書館の蔵書検索や行政情報提供を行っています。

が、このたび市議会の会議録(本会議)もその情報端末(パソコン)で検索し、ご覧いただけるようになります。

ぜひ、ご利用ください。

利用開始 6月1日(予定)

情報端末が設置されている公共施設

市役所1階ロビー／七生支所／豊田駅連絡所／生活・保健センター／中央公民館／中央図書館／高幡図書館／日野図書館／平山図書館／市政図書室／建築指導課／ふるさと博物館

編集 後記

市議会議員改選後、初の定例会が開かれ、私達8人が議会運営委員会委員となり、オブザーバーとして議長、副議長を迎え、これから1年間、議

会報編集委員も義務することになりました。編集に当たりましては、とくに堅苦しくなりがちな市議会だよりですが、市民の皆様のアドバイスも受けながら、よりわかりやすく議会活動をお知らせしていきたいと考えていますので、ご

協力をお願いいたします。

議会報編集委員会

委員長 田原 茂

副委員長 梅田 俊幸

委員 奥野 倫子

出沼恵美子、中野 昭人

秋山 薫、手嶋精一郎

夏井 明男

議長 小川 友一

副議長 沢田 研二



▶原風景再現のレンゲ畑